

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	福岡財務支局長
【提出日】	平成24年10月12日
【四半期会計期間】	第113期第3四半期（自平成24年6月1日至平成24年8月31日）
【会社名】	岡野バルブ製造株式会社
【英訳名】	OKANO VALVE MFG. Co.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 岡野 正紀
【本店の所在の場所】	北九州市門司区中町1番14号
【電話番号】	093(372)1131（代）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 岡野 武治
【最寄りの連絡場所】	北九州市門司区中町1番14号
【電話番号】	093(372)1131（代）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 岡野 武治
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 証券会員制法人福岡証券取引所 （福岡市中央区天神二丁目14番2号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第112期 第3四半期連結 累計期間	第113期 第3四半期連結 累計期間	第112期
会計期間	自平成22年 12月1日 至平成23年 8月31日	自平成23年 12月1日 至平成24年 8月31日	自平成22年 12月1日 至平成23年 11月30日
売上高(千円)	7,042,215	6,194,962	10,195,847
経常利益(千円)	283,864	272,599	939,475
四半期(当期)純利益(千円)	46,367	127,200	384,559
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	43,057	125,402	381,042
純資産額(千円)	8,331,896	8,597,842	8,669,881
総資産額(千円)	10,647,260	10,437,678	11,156,344
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	2.59	7.18	21.51
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)			
自己資本比率(%)	78.3	82.4	77.7

回次	第112期 第3四半期連結 会計期間	第113期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年 6月1日 至平成23年 8月31日	自平成24年 6月1日 至平成24年 8月31日
1株当たり四半期純損失金額 ()(円)	2.46	7.56

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため、記載しておりません。

4 第112期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災の復興需要等もあり緩やかに持ち直してはいるものの、長期化する円高や欧州の金融不安、新興国の成長鈍化などにより、先行きに対する不透明感が払拭できない状況で推移いたしました。

主に発電所で使用される高温・高圧バルブの製造販売およびメンテナンスを展開する当社グループにおきましては、原子力発電の諸問題による様々な影響を受けており、引き続き厳しい事業環境が続いております。

国内のバルブ事業につきましては、期初においては新設プラントである常陸那珂火力発電所2号機向けの出荷に加え、震災により納入が繰延べとなっていた広野火力発電所6号機向けの販売が本格化しました。また5月以降は、上越火力発電所2号系列2軸、鹿島火力発電所7号系列1、2軸といった新設火力プラント向けの売上により概ね計画どおりに進捗しております。

一方、海外向けにつきましては、台湾の新設火力発電所案件を主体として既設弁のリプレースや部品取替などにより売上高確保に努めてまいりましたが、円高の影響などから依然として受注環境の回復が見られず低調裡に終始いたしました。特に当社の主力販売先である中国向けの売上が前年同期比で半減したことが海外向けにおける減収の最大の要因となっております。

メンテナンス事業におきましては、国内において原子力発電所が再稼働できない状況が続いていることから、原子力関連の事業領域が大幅に縮小しており、当社業績に重要な影響を及ぼしております。5月に柏崎刈羽原子力発電所5号機および6号機の定期検査工事が予定どおり売上計上されたものの、その他では収益形成の柱となる大型案件が不足し、前年同期に比べ大幅な減収となりました。

損益面につきましては、第2四半期までは原子力発電所定期検査工事の施工もあり比較的順調に推移しておりましたが、下期以降についてはメンテナンス事業における売上高の絶対量不足、さらにはバルブ事業における生産量減少に伴う工場稼働率の低下などから収益が大幅に悪化し、当第3四半期の連結会計期間では営業損失を計上するに至りました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高6,194百万円（前年同期比12.0%減）、経常利益272百万円（前年同期比4.0%減）、四半期純利益127百万円（前年同期比174.3%増）となりました。

なお、営業外収益には、戦略的原子力技術利用高度化推進費補助事業として交付された平成23年度補助金の一部64百万円が含まれております。

（2）財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ718百万円減少し、10,437百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が1,411百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が1,233百万円、仕掛品が664百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ646百万円減少し、1,839百万円となりました。この主な要因は、未払費用が238百万円、支払手形及び買掛金が133百万円、退職給付引当金が98百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ72百万円減少し、8,597百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が14百万円減少し、また自己株式を取得したことなどによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は102百万円であります。

(5) 主要な設備

当第3四半期連結累計期間において、以下の設備の新設を決定しております。

重要な設備の新設

会社名	事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	投資予定額		資金調達方法	着手年月	完了予定 年月	完成後の 増加能力
				総額 (千円)	既支払額 (千円)				
提出 会社	大型弁工場 (福岡県 行橋市)	パルプ 事業	建物の新設 及び機械装 置の移設	275,000		自己資金	平成24年 6月	平成26年 3月	

(注) 上記の投資内容につきましては、生産性の向上及びコスト削減を目的として計画しています。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	59,400,000
計	59,400,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年10月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	17,930,000	同左	東京証券取引所 市場第二部 福岡証券取引所	単元株式数 1,000株
計	17,930,000	同左	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年6月1日～ 平成24年8月31日		17,930,000		1,286,250		543,750

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年5月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年5月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式			
議決権制限株式（自己株式等）			
議決権制限株式（その他）			
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 259,000		
完全議決権株式（その他）	普通株式 17,573,000	17,573	
単元未満株式	普通株式 98,000		
発行済株式総数	17,930,000		
総株主の議決権		17,573	

（注）「完全議決権株式（その他）」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が2,000株（議決権2個、すべて失念株）、また「単元未満株式」の欄には、自己株式989株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年5月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 （株）	他人名義 所有株式数 （株）	所有株式数 の合計 （株）	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合（%）
岡野バルブ製造(株)	北九州市門司区中町1番14号	259,000		259,000	1.4
計		259,000		259,000	1.4

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年6月1日から平成24年8月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年12月1日から平成24年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,061,577	3,472,880
受取手形及び売掛金	3,657,223	2,423,765
製品	102,193	109,690
仕掛品	1,746,331	1,081,555
原材料	103,539	100,785
その他	285,415	333,148
流動資産合計	7,956,280	7,521,826
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	783,865	735,243
機械装置及び運搬具(純額)	1,071,587	955,183
その他(純額)	693,858	628,592
有形固定資産合計	2,549,310	2,319,019
無形固定資産	23,213	29,741
投資その他の資産		
投資有価証券	168,902	183,577
繰延税金資産	386,668	309,955
その他	79,568	75,758
貸倒引当金	7,600	2,200
投資その他の資産合計	627,539	567,091
固定資産合計	3,200,063	2,915,852
資産合計	11,156,344	10,437,678

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	349,859	216,003
未払法人税等	108,401	10,814
未払費用	358,378	120,087
賞与引当金	51,730	111,589
その他の引当金	71,927	38,502
その他	235,114	215,143
流動負債合計	1,175,411	712,139
固定負債		
退職給付引当金	849,571	750,783
役員退職慰労引当金	223,177	183,551
その他	238,302	193,361
固定負債合計	1,311,051	1,127,696
負債合計	2,486,463	1,839,836
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,286,250	1,286,250
資本剰余金	543,750	543,750
利益剰余金	6,876,113	6,861,124
自己株式	32,182	87,433
株主資本合計	8,673,931	8,603,691
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,050	5,848
その他の包括利益累計額合計	4,050	5,848
純資産合計	8,669,881	8,597,842
負債純資産合計	11,156,344	10,437,678

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)
売上高	7,042,215	6,194,962
売上原価	5,872,593	5,053,213
売上総利益	1,169,621	1,141,748
販売費及び一般管理費		
役員報酬	140,537	136,166
給料手当及び賞与	291,248	273,243
賞与引当金繰入額	25,207	20,839
退職給付費用	23,045	23,054
役員退職慰労引当金繰入額	13,190	12,917
減価償却費	11,875	13,581
その他	517,365	505,941
販売費及び一般管理費合計	1,022,470	985,743
営業利益	147,151	156,004
営業外収益		
受取利息	127	133
受取配当金	2,830	3,043
持分法による投資利益	35,140	17,718
受取賃貸料	19,427	20,315
補助金収入	66,972	64,110
その他	12,590	12,884
営業外収益合計	137,089	118,206
営業外費用		
支払利息	338	1,202
その他	37	409
営業外費用合計	376	1,612
経常利益	283,864	272,599
特別損失		
固定資産除却損	5,919	2,009
関係会社株式売却損	13,517	-
災害による損失	175,548	14,418
特別損失合計	194,984	16,428
税金等調整前四半期純利益	88,879	256,170
法人税、住民税及び事業税	38,515	75,767
法人税等調整額	3,996	53,202
法人税等合計	42,511	128,970
少数株主損益調整前四半期純利益	46,367	127,200
四半期純利益	46,367	127,200

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	46,367	127,200
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	3,310	1,798
その他の包括利益合計	3,310	1,798
四半期包括利益	43,057	125,402
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	43,057	125,402
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)
減価償却費	256,368千円	282,135千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年12月1日至平成23年8月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年2月25日 定時株主総会	普通株式	89,387	5.0	平成22年11月30日	平成23年2月28日	利益剰余金
平成23年6月22日 取締役会	普通株式	71,509	4.0	平成23年5月31日	平成23年8月5日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成23年12月1日至平成24年8月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年2月28日 定時株主総会	普通株式	71,509	4.0	平成23年11月30日	平成24年2月29日	利益剰余金
平成24年6月27日 取締役会	普通株式	70,680	4.0	平成24年5月31日	平成24年8月8日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成22年12月1日至平成23年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注2)
	パルプ事業 (千円)	メンテナンス 事業(千円)	計(千円)		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	3,552,535	3,489,680	7,042,215	-	7,042,215
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,552,535	3,489,680	7,042,215	-	7,042,215
セグメント利益	17,974	559,877	577,852	430,700	147,151

(注) 1. セグメント利益の調整額 430,700千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年12月1日至平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注2)
	パルプ事業 (千円)	メンテナンス 事業(千円)	計(千円)		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	3,248,326	2,946,635	6,194,962	-	6,194,962
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,248,326	2,946,635	6,194,962	-	6,194,962
セグメント利益	25,249	543,550	568,800	412,795	156,004

(注) 1. セグメント利益の調整額 412,795千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年12月 1 日 至 平成23年 8 月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年12月 1 日 至 平成24年 8 月31日)
1 株当たり四半期純利益金額	2円59銭	7円18銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (千円)	46,367	127,200
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	46,367	127,200
普通株式の期中平均株式数 (株)	17,877,386	17,714,063

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成24年 6 月27日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(1) 中間配当による配当金の総額 70,680千円

(2) 1 株当たりの金額 4.00円

(3) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成24年 8 月 8 日

(注) 平成24年 5 月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年10月10日

岡野バルブ製造株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 白水 一信 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 甲斐 祐二 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている岡野バルブ製造株式会社の平成23年12月1日から平成24年11月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年6月1日から平成24年8月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年12月1日から平成24年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、岡野バルブ製造株式会社及び連結子会社の平成24年8月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。